

科目 No.	10
授業科目名 (英語表記)	グローバルヘルスと子どもの保健 ～健康格差の改善～ Global Health and Children's Health, Narrow the Health Gap
授業の実施場所	宇都宮短期大学
使用言語	日本語
単位数	1
開講日時	8月7日(火)～8日(水) (4コマ×2日) 9:10～16:15 (各日とも)
授業形態	講義・演習
受講者数	最少10人～最大20人
担当教員	宇都宮短期大学人間福祉学科講師 益川順子
開設大学	宇都宮短期大学
授業の内容	<p>グローバルヘルス (Global Health) とは、グローバルレベルで人々の健康に影響を与える課題に対して、その課題解決のためにグローバルな協力や連携が必要な領域のことを指しています。援助を行う側と援助を受ける側、つまり、二国間 = International のみならず、国際社会全体で対策を講じなければならない問題が地球上には多く存在しています。</p> <p>特に国連が定めるミレニアム開発目標においても、HIV、結核、マラリアの三大感染症は2000年前後から、最も重要なグローバルヘルスの課題として国際社会が取り組んできていますが、今日では、気候変動、精神疾患、ユニバーサルヘルスケアカバレッジ、非感染症なども、世界共通の公衆衛生の重要な課題として捉えられるようになってきました。同時に、精神的、身体的、社会的立場の弱い子どもにおいては、貧困に伴う健康格差の影響下に置かれやすいことが問題となっております。そこで、本講義では、グローバルヘルスの視点で、国内外における子どもの保健と医療福祉における諸問題と健康格差の改善についての考察を深めていきます。</p>
教科書・参考書・教材等	必要な資料等は、適宜配付予定です。
成績評価	出席状況及び課題・授業内ワークに基づき評価します。
学修上の助言	グローバルヘルスの視点で、国内外の子どもの健康と幸福について知見を深め、多様な問題の改善について、創造と思考をしていただくと良いでしょう。